

伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

～多様な主体性を涵養する教育～

あさがお



1学期は、毎日の遊び、生活、活動を大切にするために、ももっこキャッチフレーズを基本として園生活を送ってきました。各保育室、園玄関エントランスに掲示をして3つの点を柱にして生活を進めました。

- ① 遊ぶ・・・自主的に自分の好きな遊びを見つけて楽しむ
- ② 元気・・・のびのびと身体を動かして運動する
- ③ 考える・・・自分の思いや考えを大切にしながら人の気持ちを考える

日常の遊びの中や子ども会議の中でもこの3つの柱を振り返り仲間や教師と一緒に話しあったり、考えあったりしました。

遊ぶ場面では、夢中になって遊ぶ姿を教師が支えてきました。「今、～さんは、砂場で川づくりを楽しんでいるね。」と、夢中になっている姿を周りの子どもたちに知らせ、その遊びをみんなが知っている、大切にしているよという思いを代弁したり、橋渡しをしたりしてきました。

このように子どもだけではなく、私たちも子どもたちと一緒に遊びの深まりを大切にしてきました。暑い日もありましたが、いろいろな感触遊びも大事にして過ごしてきました。

園マニフェスト 学力・人権・キャリアを大切にして取り組む
～心地よくつながりあう体験を大事にして～



自ら選んで遊ぶ



夏ならではの活動



子ども会議

思考力を働かせて構成しながら遊ぶ力がつきました。また、ルールを守ったり、自分の思いを整理して言葉で伝えたりする姿も見られるようになりました。(5歳児)



にんにんタイム



日々の身体そだて



自分の思いを言葉で表現

気温に左右されず室内でしっかり身体を動かすようになりました。年長児の活動を見て、自分の思いを人の前で発表する姿も見られました。(4歳児)



毎日の運動



のびのびと活動



話を聴き他者を見て模倣

毎日の生活リズムを整えたことで、遊び・活動を充実することができました。欠席もとても少なかったです。終業式では年長児の姿を模倣して話をする姿が見られました。(3歳児)

異年齢のかかわりを深めながら、ともに育ちあう

～園のモデル 年長組の姿から～

日常生活の中では、異年齢の交流も大切にしてきました。いつもそばで遊んだり、活動したりしている年長組の姿を見てきました。栽培活動では、年長組に手本を見せてもらったり、一緒に収穫をしたりすることで憧れの気持ちが芽生えつつあります。

1学期の終業式では、ももっこキャッチフレーズをテーマにして振り返りをしました。自分の好きな遊びや楽しかったこと、チャレンジしたことなどを発表しました。年長組の話し合う姿や発言する姿をモデルにしました。年長組さんの姿から学び、全園児が意欲的に発言する姿が見られました。

1学期の間、子どもたちと同じように保護者の方も活躍してくださいました。各有志サークル活動では、様々な活動が繰り広げられました。また、年長組の野菜バザーでは、言葉のやりとりを大切にしたいという園の取り組みを理解していただき、笑顔でかかわってくださいました。様々なご協力に感謝申し上げます。

みんなのモデル ～様々な活動を進める年長児～



仲間と掃除



意欲的にメロンの収穫を楽しむ



1学期終業式 手本となる力を発揮する年長組の姿



ハンドベル演奏を披露する



テーマに添って自分の思いを伝えたり、表彰を喜びあったりする



～園とともに子どもの教育を大切にする保護者様～



「いらっしゃいませ～。おいしいジャガイモですよ！」
社会体験をする (5 歳児)

年長組 夕涼み会

～夏祭りの共通の体験を通して、様々な人とコミュニケーションを深める～

園生活最後の夏を思いっきり楽しめるように、夕涼み会を企画して実施しました。年長組は、友だちやお家の人と一緒に、踊ったり、ふれあったり、遊んだりして楽しみました。

日頃からしている食育も充実させました。子どもたちに大人気だった「七夕そうめん」を一工夫して再現しました。栽培から収穫、そして配膳と下膳までを大切にしたいと思い食育環境を整えました。

仲間とともに共通の体験を楽しむ (5 歳児)



人とかかわって喫食する



進んで下膳する

～7月あさがおイラスト～
心優しく、柔軟な感性をもつ
なのほさん

元気の源は、旬のものを食べることだと思います。子どもたちのリクエストにできるだけ答えていこうと思います。(あいママより)

文責 まつなが あい

